

小此木政夫教授略歴

【学歴】

- 一九六九年 三月 慶應義塾大学法学部政治学科卒業
- 一九七一年 三月 慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻修士課程修了
- 一九七二年 八月 延世大学大学院政治外交学科博士課程研究生（交換留学）（一九七四年三月）
- 一九七五年 三月 慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻博士課程修了
- 一九八七年 六月 法学博士（慶應義塾大学）

【職歴】

- 一九七一年 四月 慶應義塾大学法学部助手
- 一九七五年 四月 慶應義塾大学法学部専任講師
- 一九七八年 四月 慶應義塾大学法学部助教授
- 一九八一年 八月 ハワイ大学朝鮮研究センター客員研究員（フルブライト留学）
- 一九八二年 三月 ジョージ・ワシントン大学中ソ研究所客員研究員（フルブライト留学）

(日韓交流・共同研究事業)

一九八五年	四月	慶應義塾大学法学部教授 (〓二〇一一年三月)
一九八九年	六月	延世大学政治外交学科客員教授
一九八九年	九月	ソ連邦科学アカデミー東洋学研究所客員研究員
一九九五年	一〇月	慶應義塾大学地域研究センター所長 (〓一九九九年九月)
二〇〇〇年	十一月	現代韓国朝鮮学会会長 (〓二〇〇四年一月)
二〇〇一年	九月	小泉総理諮問・対外関係タスクフォース委員 (〓〇三年三月)
二〇〇四年	一月	慶應義塾評議員 (〓二〇〇七年九月)
二〇〇五年	七月	慶應義塾大学法学部長・大学院法学研究科委員長 (〓二〇〇七年九月)
二〇〇七年	一二月	福田総理諮問・外交政策勉強会委員 (〓二〇〇八年九月)
二〇〇八年	四月	慶應義塾大学東アジア研究所現代韓国研究センター長 (〓二〇一一年三月)
二〇〇九年	一月	慶應義塾評議員 (〓二〇一〇年一〇月)
一九九二年	九月	慶應義塾大学法学部政治学科・延世大学社会科学部政治外交学科間の定例学術交流会 (〓現在) 幹事
一九九三年	一二月	日韓フォーラム (〓現在) 日本側運営委員
一九九六年	四月	日韓共同研究フォーラム (〓二〇〇五年三月) 日本側座長
一九九九年	六月	日韓文化交流会議 (〓二〇〇八年三月) 日本側副座長
二〇〇二年	五月	日韓歴史共同研究委員会 (〓二〇〇五年三月) 日本側幹事
二〇〇九年	三月	日韓新時代共同研究プロジェクト (〓二〇一一年三月) 日本側委員長

【所属学会】

日本国際政治学会、アジア政経学会、現代韓国朝鮮学会、日本比較政治学会、国際安全保障学会、日本防衛学会

【受賞】

慶應義塾賞（一九八七年十一月）、櫻田會奨励賞（一九八八年二月）、福澤賞（二〇〇八年十一月）、瑞松韓日学術賞（二〇一〇年二月）、外務大臣表彰（二〇一〇年七月）

小此木政夫教授主要業績

【著書・編著】

- 『朝鮮戦争―米国の介入過程―』（単著）
『冷戦期の国際政治』（共編著）
『岐路に立つ北朝鮮』（編著）
『朝鮮半島を読む』（共著）
『日本と北朝鮮・これからの5年』（単著）
『ポスト冷戦の朝鮮半島』（編著）
『東アジア危機の構図』（共編著）
『北朝鮮ハンドブック』（編著）
『北朝鮮―その実像と軌跡―』（共著）
『金正日時代の北朝鮮』（編著）
『市場・国家・国際体制（日韓共同研究叢書11）』（共編著）
『現代東アジアの政治』（共編著）
『戦後日韓関係の展開（日韓共同研究叢書14）』（共編著）

- 中央公論社、一九八六年
慶應通信、一九八七年
日本国際問題研究所、一九八八年
プラネット出版、一九九一年
PHP研究所、一九九一年
日本国際問題研究所、一九九四年
東洋経済新報社、一九九七年
講談社、一九九七年
高文研、一九九八年
日本国際問題研究所、一九九九年
慶應義塾大学出版会、二〇〇一年
放送大学教育振興会、二〇〇四年
慶應義塾大学出版会、二〇〇五年

『危機の朝鮮半島』（編著）

『東アジアにおけるシヴィル・ソサエティの役割』（共編著）

『東アジア地域秩序と共同体構想（日韓共同研究叢書21）』（共編著）

『現代東アジアの政治と社会』（共編著）

【編集・監修】

『朝鮮問題戦後資料』第一卷（共編）

『朝鮮問題戦後資料』第二卷（共編）

『朝鮮問題戦後資料』第三卷（共編）

『資料 北朝鮮研究Ⅰ 政治・思想』（共同監修）

『在日朝鮮人はなぜ帰国したのか―在日と北朝鮮五〇年』（監修）

『韓国における市民意識の動態』（編著）

『韓国における市民意識の動態Ⅱ』（共編）

『北朝鮮と人間の安全保障』（共編）

【翻訳書】

李庭植『戦後日韓関係史』（共訳）

慶應義塾大学出版会、二〇〇六年

慶應義塾大学出版会、二〇〇七年

慶應義塾大学出版会、二〇〇九年

放送大学教育振興会、二〇一〇年

日本国際問題研究所、一九七六年

日本国際問題研究所、一九七八年

日本国際問題研究所、一九八〇年

慶應義塾大学出版会、一九九八年

現代人文社、二〇〇四年

慶應義塾大学出版会、二〇〇五年

慶應義塾大学出版会、二〇〇七年

慶應義塾大学出版会、二〇〇九年

中央公論社、一九八九年

【英文書籍】

- North Korea at the Crossroads*, ed., Japan Institute of International Affairs, 1988.
Korea and Japan: Searching for Harmony and Cooperation in a Changing Era, eds., The Sejong Institute, 1995.
Japan and Korean Unification, eds., Yonsei University Press, 1999.
The Perry Report, the Missile Quagmire, and the North Korean Question: The Quest of New Alternatives, eds., Yonsei University Press, 2000.

【学術論文】

- 「北朝鮮における対ソ自主性の萌芽、一九五三―一九五五―教条主義批判と『主体』概念―」
『アジア経済』アジア経済研究所、第一三卷七号、一九七二年
「民族解放戦争としての朝鮮戦争―革命と戦争の交錯―」『国際問題』日本国際問題研究所、第一八二号、一九七五年
「民族解放戦争としての朝鮮戦争―革命認識の三類型―」
『法学研究』慶應義塾大学法学研究会、第四八卷三号、一九七五年
“The Domestic Roots of the Korean War,” Yonosuke Nagai and Akira Iriye, eds., *The Origins of the Cold War in Asia*, University of Tokyo Press, 1977.
「米国の朝鮮政策における冷戦認識の形成―一九四五―四七年時期に関する試論―」
『法学研究』慶應義塾大学法学研究会、第五〇卷六号、一九七七年
『米国の戦後朝鮮構想』
『国際問題』日本国際問題研究所、第二〇九号、一九七七年
「朝鮮半島の戦略的価値」
『コリア評論』コリア評論社、第一九八号、一九七八年

“The Shifting Strategic Value of Korea, 1942-1950,” *Korean Studies*, Vol. 3, The Center for Korean Studies, University Press of Hawaii, 1979.

「朝鮮半島への重層的アプローチ」

『中央公論』中央公論社、一九八〇年四月号

「米国の朝鮮政策、一九四七―四九―米軍撤退の決定を中心に」

『法学研究』慶應義塾大学法学研究会、第五四卷三号（遠峰四郎教授退職記念号）、一九八一年

「朝鮮における『封じ込め』の模索―戦争以前の米国の政策―」

『冷戦期アメリカ外交の再検討』（季刊『国際政治』第七〇号）日本国際政治学会編、一九八二年

「米国の朝鮮戦争介入―地上軍再派遣の決定をめぐって―」

『現代中国と世界―その政治的展開―』（石川忠雄教授還暦記念論文集）、慶應通信、一九八二年

「朝鮮戦争への米国の対応―地上軍の北進をめぐる論議―」

『法学研究』（内山正熊教授退職記念号）慶應義塾大学法学研究会、第五六卷三号、一九八三年

「朝鮮戦争への米国の対応―地上軍の北進の決定―」

『慶應義塾創立一二五周年記念論文集』（法学部政治学関係）慶應通信、一九八三年

「朝鮮半島をめぐる国際政治」

三谷静夫編『朝鮮半島の政治経済構造』、日本国際問題研究所、一九八三年

「韓国の新体制と国民の反応―第一回国会議員選挙の分析―」

神谷不二編『北東アジアの均衡と動揺』、慶應通信、一九八四年

「米国の韓半島政策」

『コリア評論』コリア評論社、第二七〇号、一九八四年

“A Japanese Perspective on Korea-Japan Relations,” Chin-Wi Chong, ed., *Korea and Japan in World Politics*, The Korean Association of International Relations, 1985.

「思惑のバランス―韓国的民主化事情―」

『中央公論』中央公論社、一九八五年六月号

「韓国改憲政局に異変あり」

『中央公論』中央公論社、一九八六年八月号

「総選挙にみる韓国政治の変化―第一二回国會議員選挙の分析―」

『法学研究』慶應義塾大学法学研究会、第六〇巻一号、一九八七年

「中ソの北東アジア外交と日本」

『国際問題』日本国際問題研究所、第三二四号、一九八七年

「東アジアの冷戦」

小此木政夫・赤木完爾編『冷戦期の国際政治』、慶應通信、一九八七年

「工業化の政治力学」

服部民夫編『韓国の工業化―発展の構図―』（アジア工業化シリーズ2）、アジア経済研究所、一九八七年

「新興民主国への道程」

『国際交流』国際交流基金、第四七号、一九八八年

「一盧三金―四者四様の道―」

『中央公論』中央公論社、一九八八年七月号

「盧泰愚政権の性格と内政の現段階」

『国際問題』日本国際問題研究所、第三四五号、一九八八年

「南北朝鮮関係の推移と日本の対応―東京・ソウル・平壤関係の基本構造―」

『朝鮮半島の国際政治』（季刊『国際政治』第九二号）日本国際政治学会編、一九八九年

“The Political Dynamics of Japan-North Korean Relations: Implication for the South,” *Korea and World Politics*, Vol. 13, No. 3, 1989.

「ソ連の『新思考外交』と北朝鮮」

『外交フォーラム』都市出版、第二一号、一九九〇年

「統一問題の将来と日朝国交交渉」（韓国語）

『思想』社会科学院（ソウル）、第三巻第一号、一九九一年

「朝鮮統一問題と日朝国交交渉」

『国際問題』日本国際問題研究所、第三七二号、一九九一年

「ソ連軍政初期の金日成政治―組織路線―民族統一戦線」と、独自の共産党をめぐって―」

『法学研究』慶應義塾大学法学研究会、第六五巻二号（神谷不二教授退職記念号）、一九九二年

「権威主義体制以後の韓国政治―安定化―を模索する盧泰愚政権―」

『韓国―変革期の政治と行政』、行政管理研究センター、一九九二年

“Japan-North Korean Negotiations for Normalization: An Overview,” Manwoo Lee and Richard W.

Mansbach, eds., *The Changing Order in Northeast Asia and the Korean Peninsula*, The Institute for Far Eastern Studies, Kyungnam University, 1993.

“South Korea's Experiment in Democracy,” James Cotton, ed., *Korea under Roh Tae-woo: Democratisation, Northern Policy and Inter-Korean Relations*, Allen & Unwin, 1993.

“Japan and the United States in a Northeast Asian Two Plus Four,” Amos A. Jordan, ed., *Korean Unification: Implication for Northeast Asia*, The Center for Strategic and International Studies, 1993.

“Japan's Diplomatic Negotiations with North Korea: Background and Future Prospects,” Cha-Jin Lee and Hideo Sato, eds., *US-Japan Partnership in Conflict Management: the Case of Korea*, Keck Center for International and Strategic Studies, Claremont McKenna College, 1993.

“Japan's Policy toward North Korea: Diplomatic Normalization and the Nuclear Inspection Issue,” *Foreign Relations of North Korea during Kim Il Sung's Last Days*, ed., Doug Joong Kim, The Sejong Institute, 1994.

「朝鮮半島の冷戦終結」

小此木政夫編『ポスト冷戦の朝鮮半島』日本国際問題研究所、一九九四年

「日朝国交交渉と日本の役割」

小此木政夫編『ポスト冷戦の朝鮮半島』日本国際問題研究所、一九九四年

「冷戦終結後の朝鮮半島」慶應義塾大学地域研究センター編『アジア・太平洋新秩序の模索』慶應通信、一九九四年

「分断国家の二つの国家戦略——『反帝民族解放革命』と『輸出志向型工業化』——」

萩原宜之編『民主化と経済発展』（講座現代アジア3）、東京大学出版会、一九九四年

「朝鮮半島の将来を考える——共存と統一の間にあるもの——」

『三田評論』慶應義塾、第九六二号、一九九四年

“North Korean Communism: In Search of its Prototype,” Dae-sook Suh, ed., *Korean Studies: New Pacific Currents*, University of Hawaii Press, 1994.

「日本の北朝鮮政策——国交正常化交渉とその展望——」

『法学研究』慶應義塾大学法学研究会、第六八卷二号（太田俊太郎教授退職記念号）、一九九五年
 「北朝鮮共産主義の誕生—その原型をめぐって—」

松本三郎・川本邦衛編著『ベトナムと北朝鮮』、大修館、一九九五年

「摩擦と協調の日韓関係—感情的議論を排せ—」 『外交フォーラム』都市出版、第八六号、一九九五年

「腐敗一掃のピューリタン革命」 『ブリタニカ国際年鑑1994』ブリタニカ・ジャパン、一九九五年

「北朝鮮危機の構図と日米韓の対応」 『国際問題』日本国際問題研究所、第四三三号、一九九六年

「韓半島統一の展望と日本の政策」（韓国語） 現代日本学会編『二一世紀の韓日関係』、法文社（ソウル）、一九九六年

「朝鮮半島—三つのシナリオへの対応—」

小此木政夫・小島朋之編著『東アジア危機の構図』、東洋経済新報社、一九九七年

「朝鮮半島統一の展望と日本の役割」 東北アジア問題研究所『東北アジアの動向と日本外交』、悠々社、一九九七年

“Unthinking the Thinkable: Unified Korea and Japan,” Dalchoong Kim and Chung-in Moon, eds., *History, Cognition, and Peace in East Asia*, Yonsei University Press, 1997.

“Japanese Perspectives on Regime Dynamics in North Korea,” Chung-in Moon, ed., *Understanding Regime Dynamics in North Korea*, Yonsei University Press, 1998.

「危機のなかの強靱な政治体制」 小此木政夫共著『北朝鮮—その実像と軌跡—』、高文研、一九九八年

「朝鮮半島の危機管理—予防外交の提唱—」

添谷芳秀・赤木完爾編『冷戦後の国際政治—実践・政策・理論』、慶應義塾大学出版会、一九九八年

「東アジアの地域紛争と朝鮮半島」 添谷芳秀編『二一世紀国際政治の展望』、慶應義塾大学出版会、一九九九年

「北朝鮮危機と日本の対応」 小此木政夫編著『金正日時代の北朝鮮』日本国際問題研究所、一九九九年

“Beyond the Status Quo: A View from Japan,” Chung-in Moon and David I. Steinberg, eds., *Kim Dae-jung Government and Sunshine Policy: Promises and Challenges*, Yonsei University Press, 1999.

“The North Korean Crisis and Japan's Choice,” Wonmo Dong, ed., *The Two Koreas and the United States: Issue of Peace, Security, and Economic Cooperation*, M. E. Sharpe, 2000.

「新冷戦下の日米韓体制―日韓経済協力交渉と三国戦略協調の形成―」

小此木政夫・文正仁編『市場・国家・国際体制』、慶應義塾大学出版会、二〇〇一年
「朝鮮信託統治構想―第二次大戦下の連合国協議―」

『法学研究』慶應義塾大学法学研究会、第七五卷一号（山田辰雄教授退職記念号）、二〇〇二年
「日本の外交戦略が試されている―国交正常化と拉致疑惑のはざままで―」『中央公論』中央公論社、二〇〇二年五月号
「北朝鮮問題の新段階と日本外交―対米補完的連携を目指して―」

『国際問題』日本国際問題研究所、第五一八号、二〇〇三年
「北朝鮮問題と日本外交」『ブリタニカ国際年鑑2003』ブリタニカ・ジャパン、二〇〇四年

「北朝鮮問題とその展望―世界性と局地性の交錯―」

小此木政夫監修『在日朝鮮人はなぜ帰国したのか―在日と北朝鮮五〇年―』、現代人文社、二〇〇四年
「六カ国協議が閉幕して―ブッシュ外交は成功しているのか―」

『外交フォーラム』都市出版、第一九〇号、二〇〇四年
「日韓関係の新しい地平―『体制摩擦』から『意識共有』へ―」

小此木政夫・張達重編『戦後日韓関係の展開』、慶應義塾大学出版会、二〇〇五年
「戦後日朝関係の展開―解釈的な検討―」

『日韓歴史共同研究委員会報告書』第三分科篇・下巻、日韓歴史共同研究委員会、二〇〇五年
「日韓国交正常化の現在の意義」現代日本学会（韓国）『二一世紀日韓関係と北東アジアのビジョン』、二〇〇七年
「三八度線設定の地政学―対日軍事作戦と国際政治―」

『慶應の政治学』（国際政治）、慶應義塾創立一五〇年記念法学部論文集収録、慶應義塾大学出版会、二〇〇八年

「核兵器との奇妙な共存―朝鮮半島の地域秩序―」

小此木政夫・文正仁編『東アジア地域秩序と共同体構想』、慶應義塾大学出版会、二〇〇九年
「朝鮮独立問題と信託統治構想―四大国『共同行動』の模索―」

『法学研究』慶應義塾大学法学研究会、第八二卷八号、二〇〇九年